

看護部全体で取り組み、  
実践能力(知識・技術・態度)の質アップ!



医療法人青仁会 池田病院  
右:看護部長  
**堂地 由紀子 様**  
左:教育担当師長  
**楢松 美穂 様**

ビジュアルナースングメソッドの看護技術チェックリストを当院用に作成し、看護部全体で看護技術の標準化と技術の統一にとても役立っています。  
また、週に1回実施している新人看護師研修(OFF-JT)では新人看護職員技術チェックコースの目標を設定し、ビジュアルナースングメソッドの視聴・シミュレーショントレーニング・評価を実施することにより確実に自信と実践能力の向上につながっています。

ビジュアルナースングメソッドの  
運用基準を明文化し、院内での活用を円滑に!



社会福祉法人 仁生社  
江戸川病院  
右:看護部長  
**田中 美香 様**  
左:教育担当  
**茅根 貴博 様**

ビジュアルナースングメソッドの看護手順書・動画・テストの使用方法とあわせ、技術チェックリストと看護技術評価表の使用方法も明文化したことで、新人に対し各部署で統一された指導ははかれるようになりました。また、看護手順書の修正に際しても、関係部署への修正依頼方法を明文化し、看護手順書の整備に役立てています。

ビジュアルナースングメソッドが  
技術習得の近道に



一般財団法人 三友堂病院  
三友堂リハビリテーションセンター  
看護部教育委員長  
**須貝 美和子 様**

看護技術の動画での学びはイメージトレーニングがしやすく、技術習得の近道になるため、新人看護師の技術習得過程に組み入れています。また、いつでも、誰でも、すぐに技術確認ができるようにビジュアルナースングメソッドを活用し、当院での必要な技術も加えて、看護技術手順書として各病棟に設置しています。

手順書・動画・テストを  
フル活用!



京都山城総合医療センター  
助産師  
**竹村 綾香 様**

利用してみて、看護技術の方法や手順が簡単に確認できることが良い点だと思います。動画は、見やすく必要なポイントがすぐわかるし、手順と解剖整理を関連させるとさらに理解が深まります。テストは、理解力を確認できる点がいいですし、患者へのケアの際重点な部分として意識できます。

2019  
年度版

2019年1月発行

# 「ビジュアル」 ナースングメソッド

統一した看護手順書・技術動画で安心な看護を提供!  
手順書の更新やさまざまな技術指導に役立ちます

約 **330** テーマ

新テーマ続々公開中!

制作協力 聖路加国際病院

2019年度予定  
テーマ数は変更する場合があります



第14回 日本eラーニング大賞  
日本電子出版協会 会長賞  
医療系eラーニング全国交流会会長賞  
**業界初! ダブル受賞!**



いつでも  
何度でも  
繰り返し  
学べる

根拠に  
基づいた  
最新の手順書

手順書を  
簡単に  
編集できる

無料デモ体験  
できます!

ビジュアルナースングメソッド 検索



## 受講費用 **年度契約のみ** ※全テーマ 2020年3月31日まで受講いただけます

### ▶ 学研ナースングサポート と併用の場合

年度契約のみ

**併用がおトク**

ビジュアルナースングメソッドとともに、学研ナースングサポート(講義配信サービス・別売り)の著名講師陣による講義をOFF-JTで活用すれば、さらに質の高いOJTが実施できます!

受講料金 **20,000円/月(税別)**

### ▶ 単体でお申し込みの場合

年度契約のみ

受講料金 **40,000円/月(税別)**

**+** 単体でお申し込みの場合でも、オプションの追加ができます!

選べるオプション		
看護管理者特別コースⅠ	〈基礎・概論編〉認定看護管理者セカンド・サードレベルを対象にマネジメントスキルの基礎を学ぶ	10,000円/月(税別)
看護管理者特別コースⅡ	〈実践編〉認定看護管理者セカンド・サードレベルを対象とした病院・病棟に活かせるマネジメント術	10,000円/月(税別)
入退院支援・地域包括ケアコース	見てわかる! 病棟・外来・地域をつなぐ看護師へ成長できる実践のコツ	10,000円/月(税別)
学研介護サポート	新人・中堅介護職員が見ただけでわかる研修ツール	10,000円/月(税別)
学研訪問看護サポート	訪問看護にかかわるすべてのスタッフが学習できる!	15,000円/月(税別)

※オプションの詳細は学研ナースングサポートのパンフレットをご覧ください  
※消費税の変更に伴い、2019年10月1日以降の受講費用より新税率を適用させていただきます  
年度途中からのお申し込みも可能です

お問い合わせ・資料請求は

株式会社 **学研メディカルサポート**  
〒141-8414 東京都品川区西五反田 2-11-8

☎ **03-6431-1228** (代表) 平日 9:00~18:00 担当: 営業企画部  
FAX 03-6431-1414 WEB <https://gakken-meds.jp>

「ビジュアル」  
ナーシングメソッド 4 つの  
ご利用サイクル

# 1 看護手順書で手技を学習

押さえてほしい「根拠」や「コツ」、  
「医療安全」「感染対策」の視点も学習できる

さらに! 指導・評価で使える  
チェックリストもご用意!

テストも編集可能！

一部テーマでは「看護記録を書く際のポイント」も説明！

学研側で定期的にコンテンツを見直し、最新の情報に更新。  
更新されたコンテンツは、「学研更新」ボタンでお知らせ！





新人看護職員技術チェックコース

カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ
環境調整技術	■ 病室の環境調整	清潔・衣生活援助技術	■ 全身清拭(2人で行う場合)	与薬の技術	■ 経口与薬	救命救急処置技術	■ 意識レベルの把握	苦痛の緩和・安楽確保の技術	■ 安楽な体位の保持
	■ ベッドメイキング(2人で行う場合)		■ 全身清拭(1人で行う場合)※		■ 経皮与薬		■ 一次救命処置(BLS)		■ 冷電法
	■ ベッドメイキング(1人で行う場合)※		■ 洗髪(2人で行う場合)		■ 口腔内与薬		■ バッグバルブマスクの使用法		■ 温電法
	■ 臥床患者のシーツ交換		■ 洗髪(1人で行う場合)※		■ 点眼		■ ジャクソンリースの使用法		■ リラクセーション法
食事援助技術	■ 間接的嚥下訓練(嚥下体操)	呼吸・循環を整える技術	■ 臥床患者の口腔ケア	症状・生体機能管理技術	■ 点耳	安全確保の技術	■ AEDの使用法	感染予防技術	■ 精神的安寧を保つためのケア
	■ 間接的嚥下訓練(アيسマッサージ)		■ 挿管患者の口腔ケア		■ 点鼻		■ 気管挿管の準備と介助		■ スタンダードプリコーション(標準予防策)の考え方
	■ 安全な食事介助のための準備		■ 入浴介助		■ 点鼻		■ 止血法		■ 手洗い
	■ 食事介助		■ シャワー浴介助		■ 直腸内与薬		■ チームメンバーへの応援要請		■ 手指消毒
排泄援助技術	■ 経鼻胃管の挿入	創傷管理技術	■ 陰部洗浄	死亡時のケア	■ 吸入法(定量噴霧式吸入器)	死亡時のケア	■ 脈拍測定	死亡時のケア	■ 個人防護用具の着脱
	■ 経鼻胃管からの栄養法		■ 陰部洗浄(膀胱留置カテーテル挿入患者)		■ 吸入法(ドライパウダー式吸入器)		■ 動脈触知(上肢)		■ N95マスクの着脱
	■ 胃ろうからの栄養法		■ 手浴		■ アンプル、バイアルからの薬剤の吸い上げ		■ 動脈触知(下肢)		■ 滅菌手袋の装着
	■ 経腸栄養ポンプ: アプリックススマート		■ 足浴		■ ミキシング、ブライミング		■ 動脈触知(頭頸部)		■ 滅菌ガウンの着用
活動・休息援助技術	■ 経腸栄養ポンプ: カンガルーポンプ	創傷管理技術	■ おむつ交換(2人で行う場合)	死亡時のケア	■ 皮下注射	死亡時のケア	■ 腋窩検温	死亡時のケア	■ 清潔区域のつくりかた
	■ 臥床患者の排尿援助		■ おむつ交換(1人で行う場合)※		■ 筋肉内注射		■ 体温測定(鼓膜)		■ 感染性廃棄物の取り扱い
	■ 臥床患者の排便援助		■ 寝衣交換(2人で行う場合)		■ 皮内注射		■ 体温測定(電子血圧計)		■ 針刺し防止策と針刺し後の対応
	■ 導尿		■ 寝衣交換(1人で行う場合)※		■ インスリン製剤の種類・用法と副作用		■ 血圧測定		■ 洗浄・消毒・滅菌の取り扱い
活動・休息援助技術	■ 膀胱留置カテーテルの挿入	創傷管理技術	■ チューブ類の取り扱い(寝衣交換の場合)	死亡時のケア	■ インスリン注射(専用シリンジ)	死亡時のケア	■ 血圧測定(下肢)	死亡時のケア	■ 誤薬防止
	■ 膀胱留置カテーテルの管理		■ 整容		■ インスリン注射(ペン型)		■ 瞳孔の評価		■ 患者誤認防止策の実施(患者確認)
	■ 膀胱留置カテーテルの拔去		■ 鼻カニューレによる酸素吸入		■ 静脈内注射(ワンショット)		■ 呼吸音の聴取		■ 患者・部位・手技名の誤認防止(タイムアウト)に関する手順
	■ 洗腸(グリセリン洗腸)		■ 簡易酸素マスクによる酸素吸入		■ 点滴静脈内注射		■ シリンジ採血		■ 転倒転落防止策
活動・休息援助技術	■ 摘便	創傷管理技術	■ 酸素ボンベからの酸素吸入	死亡時のケア	■ ヘパリンロック	死亡時のケア	■ 真空管採血	死亡時のケア	■ 薬剤曝露の防止
	■ 歩行介助		■ 口腔内・鼻腔内吸引	死亡時のケア	■ 三方活栓からの静脈注射		■ 血液培養	死亡時のケア	■ 放射線被曝の防止
	■ 車いすへの移乗		■ 気管切開患者の開放式吸引		■ 中心静脈カテーテル挿入の準備		■ 咽頭培養	死亡時のケア	■ 死後のケア
	■ 車いすでの移送		■ 挿管患者の開放式吸引		■ 中心静脈カテーテル挿入の介助		■ 胃液培養		
活動・休息援助技術	■ ストレッチャーへの移乗	創傷管理技術	■ 人工呼吸器の準備	死亡時のケア	■ 中心静脈カテーテル挿入患者の管理	死亡時のケア	■ 尿の採取	死亡時のケア	
	■ ストレッチャーでの移送		■ 人工呼吸器の管理 ― 1.呼吸器と気道の管理	死亡時のケア	■ 輸液ポンプの使用		■ 喀痰採取	死亡時のケア	
	■ チューブ類の取り扱い(移乗の場合)		■ 人工呼吸器の管理 ― 2.患者の観察	死亡時のケア	■ 輸液ポンプの管理		■ 喀痰採取(吸引による)	死亡時のケア	
	■ 体位変換(左右の移動)		■ 人工呼吸器の管理 ― 3.日常のケア	死亡時のケア	■ シリンジポンプの使用		■ 動脈血採血の準備と検体の取り扱い	死亡時のケア	
活動・休息援助技術	■ 体位変換(上下の移動)	創傷管理技術	■ 人工呼吸器の管理 ― 4.アラーム対応	死亡時のケア	■ シリンジポンプの管理	死亡時のケア	■ 血糖値測定	死亡時のケア	
	■ 体位変換(仰臥位から側臥位)		■ ジェットネブライザーの実施	死亡時のケア	■ 輸血の準備		■ 心電図モニタの装着と管理	死亡時のケア	
	■ 体位変換(仰臥位から端坐位)		■ 超音波ネブライザーの実施	死亡時のケア	■ 輸血の実施		■ パルスオキシメータによる測定	死亡時のケア	
	■ チューブ類の取り扱い(体位変換の場合)		■ 人工呼吸器の回路交換	死亡時のケア	■ 輸血中と輸血後の観察		■ 身長測定	死亡時のケア	
活動・休息援助技術	■ 廃用症候群予防	創傷管理技術	■ 体位ドレナージ	死亡時のケア	■ 麻薬の理解と管理	死亡時のケア	■ 体重測定	死亡時のケア	
	■ 関節可動域訓練(上肢)		■ 包帯法(螺旋帯)	死亡時のケア	■ 特別な注意を要する薬剤の管理	死亡時のケア	■ 胸囲測定	死亡時のケア	
	■ 関節可動域訓練(下肢)		■ 包帯法(蛇行帯)	死亡時のケア	■ 抗菌薬の用法の理解と副作用の観察	死亡時のケア	■ 腹囲測定(立位)	死亡時のケア	
	■ 入眠・睡眠の援助		■ 包帯法(亀甲帯)	死亡時のケア	■ 抗ウイルス薬等の用法の理解と副作用の観察	死亡時のケア	■ 腹囲測定(臥位)	死亡時のケア	
活動・休息援助技術	■ 体動・移動に注意が必要な患者への援助(認知症患者の場合)	創傷管理技術	■ 包帯法(三角巾)	死亡時のケア		死亡時のケア	■ 排尿・尿検査の方法と検体の取り扱い	死亡時のケア	
			■ 褥瘡の予防	死亡時のケア		死亡時のケア		死亡時のケア	
			■ 褥瘡の予防 ― 摩擦とずれ予防	死亡時のケア		死亡時のケア		死亡時のケア	
			■ 褥瘡処置	死亡時のケア		死亡時のケア		死亡時のケア	
活動・休息援助技術		創傷管理技術	■ 創傷処置(サージカルテープとフィルム材の貼り方、はがし方)	死亡時のケア		死亡時のケア		死亡時のケア	
		創傷管理技術		死亡時のケア		死亡時のケア		死亡時のケア	
		創傷管理技術		死亡時のケア		死亡時のケア		死亡時のケア	
		創傷管理技術		死亡時のケア		死亡時のケア		死亡時のケア	

新人看護職員技術チェックコース **アドバンス**

カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ
基本技術	■ 皮下埋め込み型ポートの管理	消化器	■ 腹腔穿刺
	■ ドレーン挿入患者の管理		■ 腹腔ドレーン挿入
	■ 局所麻酔における看護		■ イレウス管挿入患者の管理
	■ 胃瘻周辺部のスキンケア		■ ストーマサイトマーキング
救急	■ 弾性ストッキングの着用	検査	■ ストーマ造設術直後の装具交換
	■ 間欠的下肢空気圧迫法		■ ストーマ装具の排泄物処理
	■ 救急カートの点検		■ 腰椎穿刺
	■ 除細動		■ 骨髄穿刺
手術	■ ハイムリック法	その他	■ 上部消化管内視鏡検査
	■ 窒息時の吸引		■ 上部消化管内視鏡検査看護
	■ 経口エアウェイ・経鼻エアウェイ		■ 下部消化管内視鏡検査
	■ 熱傷時の初期対応		■ 下部消化管内視鏡検査看護
集中ケア	■ 胃洗浄における看護		■ 気管支鏡検査
	■ アナフィラキシー発症時の初期対応		■ 気管支鏡検査看護
	■ 病院内での成人に対する二次救命処置(ALS)		■ 心臓カテーテル検査
	■ 硬膜外麻酔における看護		■ 心臓カテーテル検査看護
呼吸器	■ 貯血式自己血輸血の採血		■ 血管造影検査
	■ 脳室ドレナージの管理		■ 血管造影検査看護
	■ 動脈圧モニタ(準備)		■ 上部消化管 X 線造影検査
	■ 動脈圧モニタ(ラインの挿入)		■ 上部消化管 X 線造影検査看護
循環器	■ 動脈圧モニタ(採血)	その他	■ 超音波検査
	■ 動脈圧モニタ(管理)		■ 超音波検査看護
	■ 経皮的気管穿刺(緊急時)		■ RI 検査
	■ 気管切開部の管理		■ RI 検査看護
循環器	■ 気管切開チューブ交換の介助		■ CT 検査
	■ 人工呼吸器離脱(SAT、SBT)		■ CT 検査看護
	■ 人工呼吸器離脱(気管チューブの拔去)		■ MRI 検査
	■ 胸腔穿刺(胸水)		■ MRI 検査看護
循環器	■ 胸腔ドレーン挿入(胸水)	その他	■ X 線一般撮影
	■ 胸腔ドレーン挿入(気胸)		■ X 線ポータブル撮影
	■ 胸腔ドレナージの管理		■ 陰圧閉鎖療法中の患者の管理
	■ 心嚢穿刺		■ 介達牽引・直達牽引の介助
循環器	■ 心嚢ドレーン挿入	その他	■ 牽引中の患者の管理
	■ 体外式ペースメーカ挿入患者の対応		■ 神経根ブロックの検査前準備(病棟・外来)
	■ 心臓ペースメーカ植え込み術直後の対応		■ 神経根ブロックの検査前準備(放射線科)
			■ 神経根ブロックの検査介助
循環器		その他	■ ギプス巻きの介助
		その他	■ 牽引中の体位交換
		その他	
		その他	

小児看護コース

カテゴリー	テーマ
食事援助技術	■ 安全な食事介助のための準備
	■ 食事介助(調乳)
	■ 食事介助
	■ 洗腸(グリセリン洗腸)
排泄援助技術	■ ベビーカーの使い方
	■ 入眠・睡眠の援助
活動・休息援助技術	■ 口腔ケア
	■ 小児の沐浴
	■ シャワー浴の介助
	■ おむつ交換
症状・生体機能管理技術	■ バイタルサインの測定
	■ 尿の採取
	■ 身長測定
	■ 体重測定
苦痛の緩和・安楽確保の技術	■ 頭囲測定
	■ 静脈血採取
	■ パルスオキシメータによる測定
	■ 冷電法
安全確保の技術	■ 温電法
	■ 転倒転落防止策
呼吸・循環を整える技術	■ 酸素吸入(総論)
	■ 酸素吸入(鼻カニューレ)
	■ 酸素吸入(酸素マスク)
	■ 口腔内・鼻腔内吸引
与薬の技術	■ 吸入法(総論)
	■ 吸入法(ジェットネブライザー)
	■ 吸入法(定量噴霧式吸入器)
	■ 吸入法(ドライパウダー式吸入器)
救命救急処置技術	■ 意識レベルの把握
	■ 一次救命処置(BLS)
	■ バッグバルブマスクの使用法
	■ AEDの使用法
その他	■ プレパレーション

在宅終末期ケアコース

カテゴリー	テーマ
在宅終末期ケア	■ 終末期とエンドオブライフケアの考え方
	■ 終末期ケアへの意思の確認
	■ 在宅療養の準備(情報源と収集すべき情報)
	■ 退院前カンファレンス
在宅終末期ケア	■ 在宅療養の準備(患者と家族に提供すべき情報)
	■ 訪問前準備(緊急体制の確立)
	■ 訪問看護計画立案作成
	■ 初回訪問時の注意点
在宅終末期ケア	■ 初回訪問(バイタルサインのチェック)
	■ 初回訪問(服薬指導)
	■ 初回訪問(帰り際)
	■ 初回訪問(振返り)
在宅終末期ケア	■ 家族との関わり方
	■ チームアプローチ
	■ 急変時の対応
	■ 訪問看護報告書の作成
在宅終末期ケア	■ エンゼルケア
	■ エンゼルケア(事例紹介) <a href="#">動画のみ</a>
	■ グリーフケア
	■ グリーフケア(事例紹介) <a href="#">動画のみ</a>

Check!

2019年度は  
緩和ケアコースを追加予定！

内 容

■ 緩和ケアの理念

■ 緩和ケアにおける看護師の役割

■ 緩和ケア病棟と一般病棟の違い など